

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 10 月 4 日(2023.10.4)

【公開番号】特開 2023-53968(P2023-53968A)
【公開日】令和 5 年 4 月 13 日(2023.4.13)
【年通号数】公開公報(特許)2023-069
【出願番号】特願 2023-8662(P2023-8662)
【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30(2006.01)

G 0 2 F 1/1335(2006.01)

B 3 2 B 27/30(2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/30

G 0 2 F 1/1335 5 1 0

B 3 2 B 27/30 1 0 2

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 9 月 26 日(2023.9.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリビニルアルコール系偏光フィルムと、このポリビニルアルコール系偏光フィルムの少なくとも片面に設けられた保護フィルムとを備えている偏光板であって、上記ポリビニルアルコール系偏光フィルムのガラス転移温度が 100 以上であることを特徴とする偏光板。

【請求項 2】

水分率が 2 重量 % 以下であることを特徴とする請求項 1 記載の偏光板。

【請求項 3】

上記ポリビニルアルコール系偏光フィルムのホウ酸含有率が 20 重量 % 以上であることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の偏光板。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の偏光板と、画像表示装置とが積層されていることを特徴とする液晶表示装置。

【請求項 5】

請求項 4 記載の液晶表示装置の製造方法であって、ガラス転移温度が 95 未満のポリビニルアルコール系偏光フィルムを有する偏光板と画像表示装置との積層体に対して乾燥処理を行うことにより、上記偏光板を構成するポリビニルアルコール系偏光フィルムのガラス転移温度を 100 以上に制御することを特徴とする液晶表示装置の製造方法。

【請求項 6】

ガラス転移温度が 100 以上であることを特徴とするポリビニルアルコール系偏光フィルム。

10

20

30

40

50